

第 1 回委員会について

第 1 回史跡小泉八雲旧居保存活用計画策定委員会（令和 6 年 10 月 4 日開催）の意見等について、以下のとおり回答します。

◆第 1 回委員会での主な意見 ※「・」により意見を記載し、「⇒」対応事項等を記載する。

◇計画策定について

- ・第 1 章「計画策定の沿革・目的」について、保存活用計画を策定すべき目的、課題の再考が必要。
⇒第 1 章「計画策定の沿革・目的」を修正。
- ・史跡指定範囲、修繕履歴を分かりやすく記載。
⇒第 1 章「計画策定の沿革・目的（5 計画の対象範囲）」、第 3 章「史跡の概要（2 指定の状況）」に記載。
- ・旧居が保存されてきた経緯を整理し、武家屋敷としての価値を明確化する。
⇒第 3 章「史跡の概要」に記載。

◇保存・整備について

〈建造物〉

- ・耐震診断については、保存活用計画策定期間中（R6～R7）は耐震診断結果が出てこないが、簡単な構造図等基礎資料が提示できれば、この 2 年でも検討できるのではないかと。
- ・建物の基礎周りが湿気にさらされやすい状況。保存上の課題として、全体的な排水計画の見直し、湿気対策、腐朽対策も追加すると良い。
- ・耐震補強を含めた整備の検討。
- ・屋根裏の防火区画の検討。

〈庭園〉

- ・継続的な維持管理も含めた庭園整備の検討。
- ・未整備部分活用の検討。

〈その他〉

- ・井戸の位置づけについて、文化財としての価値を保全しながら、災害時の水資源としての位置づけ、整備の検討。
- ・北側保全地と史跡指定範囲との高低差を考えた排水対策の検討（現状変更が必要な案件に該当するため計画的な検討必要）。

⇒次年度委員会の議事、第 6 章「保存・管理」と第 9 章「整備」を中心に検討予定。

⇒次年度委員会の参考資料として、耐震予備診断書や構造図などを準備する予定。

◇活用について

- ・小泉八雲記念館と小泉八雲旧居の一体的な運用を検討。
- ・北側保全地の活用については、小泉八雲記念館も含め両施設として何が必要かを検討する必要がある。
- ・防災（避難経路）も意識した見学順路の検討。
- ・建造物保護と来館者の安全確保等のため、スリッパの設置検討。
- ・文化財地域計画、松江市全体の文化財活用、観光など、他の施設との連携。
- ・他施設と連携したガイドンスの検討。

⇒次年度委員会の議事、第 6 章「保存・管理」と第 7 章「活用」を中心に検討予定。

◇資料について

- ・耐震対策（方針）を検討する為の簡単な構造図、基礎資料
- ・消防計画、最寄りの消防署、広域避難場所指定の資料
- ・熱感知式センサーの設備図、現状の火災対策の設備情報
- ・現状の詳細図面（平面図、断面図、壁面か開放可能部分かが分かる図面）
- ・庭園の実測図（植物も含む）
- ・庭園の過去の姿が分かる資料提供

⇒次年度委員会の議事、第 6 章「保存・管理」以降を中心に検討予定。

⇒次年度委員会の参考資料として、準備する予定。

⇒「庭園の過去の姿が分かる資料」については、本委員会の参考資料として提供。

【参考】第 1 回史跡小泉八雲旧居保存活用計画策定委員会

日時：令和 6 年 10 月 4 日（金）9:00～12:00

場所：松江市役所第 4 別館 3 階 教育委員会室・史跡小泉八雲旧居現地

《次第》 1. 開会のあいさつ

2. 委員紹介と委員長選出

3. 現地視察

4. 議事

（1）史跡小泉八雲旧居保存活用計画について

（2）第 1 章「計画策定の背景と目的」について

5. その他（今後の予定）